

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	モモの家		公表日 R7年3月3日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	限られたスペースでの活動であるため、適宜パーティションを用いて空間を調整したり、座席の配置に配慮するなど工夫をしている。	引き続き、スペースの狭さから生じる不都合に子どもたちが戸惑わないよう配慮をする。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		職員の配置基準は満たしている。保護者の方に負担や職員の足りなさを感じさせないよう、職員間の連携と意識を高めていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	事業所を含む館内はバリアフリーとなっている。掲示物は刺激を最小限にするなど工夫をしている。	子どもたちにとって分かりやすく活動に参加しやすい環境づくりを今後も検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	施設のお老朽化もあり、修理が必要な箇所はその都度対処している。安全面や清潔面に最大限配慮しながら、清掃や整頓に努めている。	必要に応じて改善を行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	個室はないため、個別指導時はパーティションで部屋を仕切って使用している。活動によって空きスペースがある場合は、必要な個別対応が可能。	限られたスペースの中で工夫をしながら、安全面に配慮して支援を行う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2	支援終了後や必要に応じた話し合いの時間を設けている。	全職員が参画はするが、どの職員も意見が出しやすいよう配慮し、業務の課題改善に繋がるよう努める。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	いただいたご意見の中ですぐに改善できるものについては、業務に反映させるようにしている。	複数意見のあった駐車場のこと(狭さや危険への不安)などハード面に関しては早急な改善が難しく、見送りの際の安全確認など職員ができることで対応を行う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	様々な場面で、支援や業務に関する意見を把握できるよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5		現在は第三者による外部評価は行ってない。今後の実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	2	外部研修への参加は人数や回数に限られたものとなった。研修内容は伝達により共有したり、会議等でのケース検討会の内容や発達支援や福祉に関する情報も共有に努めている。	外部研修・内部研修ともに機会が増やせるよう計画を行う。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	5		内容を再検討して公表を行う。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	アセスメントで十分に保護者の願いを聞いた上で、全職員による会議で計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	全職員で検討し、子どもの実態に合った計画を作成するよう努めている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	2	計画は共有できており、適宜内容の確認をしながら支援を行っている。	個別指導時、計画に沿った課題や内容を十分に取り入れられないこともあり、課題の選定には工夫をしていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	ポーテージ早期教育プログラムの活用や、集団・個別指導の中での行動観察により、職員間で子どもの様子を確認するなどアセスメントに繋げている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	子どもの実態に合わせて、支援に必要な項目を設定し、できるだけ具体的な支援内容を設定するようにしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	担当職員が立案したものを職員間で話し合い、検討している。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	担当職員が起案したものを職員間で話し合い、検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別支援会議の中でそれぞれの発達や実態に合わせた計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	支援前日と支援開始前に職員間で打ち合わせをして、活動内容や支援に関する情報共有や確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了後に職員間で打ち合わせをし、活動や支援に関する反省点を話し合ったり、様々な情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日支援終了後に記録をとり、必要に応じて、子どもの状態の変化を確認したり、支援方法の検討をするなど日常的に記録を活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年ごとにモニタリングをし、保護者の要望も踏まえながら支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	各機関と必要に応じた連携がとれるようにしているが、連携可能な機関に限られている面がある。	特に医療機関との連携は少なく、保護者を通して情報を得ることが主である。今後、保護者のニーズがあれば連携も検討し、支援の充実を目指す。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	保育所や認定こども園、幼稚園を併行利用しているケースが多数を占めている。保育所や一部の認定こども園とは「すくすくネットワーク研修会」で連携をとり、保護者の方の承諾を得て支援内容の共有を行っている。	移行支援や幼稚園との連携が今後の課題。より連携が必要と考えられるケースから少しずつ取り組みたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	「就学サポートファイル作成会議」への参加により、支援内容の情報共有をし、小学校への移行支援を行っている。	現在は特別支援学校との情報共有の機会はないが、要請があれば支援内容の情報共有を行うなど保護者の安心に繋げたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5	地域に児童発達支援センターがない。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		保育所や認定こども園、幼稚園との並行通園が多数であるため、特に交流の機会を作っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	2	様々な場面で保護者と子どもの様子や課題について話題にするよう努めている。	発達や課題に深く関わる内容については十分に伝え合っていない場合もあり、共通理解に向けた場の設定も必要と考える。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	プログラム化されたものの実施はしておらず、支援中に場面を捉えて子どもへの関わり方を保護者の方に伝えたり、共に考えるなどしている。研修会の案内等、情報提供は適宜行っている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	契約時に説明を行っているが、支援プログラムについての説明が行えなかった。	今後、支援プログラムの説明も加えていく。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	2	保護者の意向を最大限尊重できるような計画作成に努めている。	今後は子どもの意向も優先できるよう、確認の機会を設けていく。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	内容の説明を行い同意を得ている。		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	2	定期的な面談は行っていない。随時対応が可能である。今年度は試みに面談希望カードを設置した。直接や電話で相談があった際は、適切で具体的な助言ができるよう配慮している。	今後も随時対応するとともに、発信しづらい保護者の方への配慮も併せて行う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	父母の会の支援は行っているが、交流の機会やきょうだい支援については具体的には行っていない。日常的には、保護者同士が話をすることで仲間づくりのきっかけとなるよう配慮している。	保護者同士の交流の機会は、今後具体策の検討を行う。きょうだい支援の方法も同様に今後の検討課題とする。父母の会の活動の支援は引き続き継続し、保護者同士の繋がりを支援していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談や申し入れが随時可能な旨を契約時に周知している。相談があった場合は、対応可能な職員が速やかに応じるよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	1	毎月の会報（モモの家だより）で、保護者向けに行事予定や活動内容・連絡事項など周知している。ホームページは固定された内容で、新たな情報発信には使用していない。今回の自己評価はホームページで公表を行う。	ホームページやSNSの活用は今後の検討課題とする。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	ケース記録はパソコンで行い、パスワード設定で管理している。活動中の写真撮影や卒園文集等への写真掲載の可否について、年度毎に書面にて承諾を取っている。	今後も必要に応じて個人情報の取り扱いには慎重に配慮を行う。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	保護者や子どもの状態に合わせ、伝達的手段を考慮しながら行っている。	引き続き一人一人に応じた手段を工夫していく。特に子どもとの意思疎通においては職員間で情報共有し、職員自身のスキルも高めていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	法人内での地域行事開催は現在行っていない。事業所内での行事のみ行っている。	地域支援を視野に入れ、今後の在り方を検討する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0	5	内容の再検討が必要である。訓練は地震や火災のみで各種に対応したものでなく、周知も未実施。	内容の再検討と整備および周知を早急に行う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2	策定は行っているが、それに基づく避難訓練が現状では職員のみ参加となっている。	年2回の館内の避難訓練や消火訓練、定期的な防災設備点検の継続と、療育中を想定した訓練の実施の検討を行う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	2	服薬やてんかん等、医療面の特記事項は契約時など利用前に保護者の方から情報を得ようとしてしている。予防接種については未確認となっている。	予防接種をはじめとして支援に必要と思われる事項は、今後書面を準備するよう検討する。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	入園前に給食提供に関して食物アレルギーの有無の確認をし、法人の管理栄養士に情報提供している。必要に応じて医療機関での検査情報を紙面で行い、栄養士と情報共有を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	計画の内容が不十分である。日常的には使用する場所や物品の安全確認は行っている。安全管理に関する研修や訓練は行っていないため今後取り入れていく。	安全管理に関して早急な再検討と整備を目指す。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	計画の内容と周知が不十分である。	安全管理に関する内容を再検討して、整備と周知を早急に行う。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	支援中に起こった事案は速やかに責任者に報告し、時間を置かず職員間で共有するとともに業務日誌に記録をしている。普段から些細な事でも職員間で情報共有することを習慣にしている。	今後も職員間での情報共有を徹底し、事故防止に努めていく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待に関連するような事案は特になかったが、対応で気付いたことがあれば日頃より職員間での共有を行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0	5	支援の中で身体拘束を行う状況が特にない。		